

第 414 回 企業会計基準委員会議事概要

I. 日 時 2019 年 8 月 9 日（金） 13 時 30 分～16 時

II. 場 所 財務会計基準機構 会議室

III. 議 題

（審議事項）

- (1) 基準諮問会議からの報告
- (2) 中期運営方針の検討
- (3) FASB コメント募集「識別可能な無形資産及びのれんの事後の会計処理」へのコメントの検討
- (4) 収益認識会計基準に関する開示及び表示に関連する事項の検討

（報告事項）

- (1) IASB 公開草案「IFRS 基準の年次改善 2018-2020」 — IFRS 第 1 号「国際財務報告基準の初度適用」の修正案等へのコメント

IV. 議事概要

（審議事項）

(1) 基準諮問会議からの報告

湯浅基準諮問会議議長より、第 36 回基準諮問会議（2019 年 7 月 23 日開催）において、企業会計基準委員会への新規テーマの提言がなかった旨の報告が行われた。

また、第 35 回基準諮問会議（2019 年 3 月 7 日開催）において、今後、テーマ提案を行う可能性があるものとして法務省より説明された「株式報酬に関する会社法制の見直し」に関連して、日本公認会計士協会より、「会計制度委員会研究報告第 15 号『インセンティブ報酬の会計処理に関する研究報告』」について説明を受けた旨の報告が行われた。

さらに、ASBJ より中期運営方針の策定及び最近の基準開発の動向に関しての説明を受け、質疑を行った旨の報告が行われた。

(2) 中期運営方針の検討

小賀坂委員長より、中期運営方針の案について、前回の審議からの変更点を中心に説明がなされ、審議が行われた。

(3) FASB コメント募集「識別可能な無形資産及びのれんの事後の会計処理」へのコメントの検討

小賀坂委員長及び板橋ディレクターより、FASB コメント募集「識別可能な無形資産及びのれんの事後の会計処理」へのコメント対応案について説明がなされ、審議が行われた。

(4) 収益認識会計基準に関する開示及び表示に関連する事項の検討

川西副委員長より、①重要な会計方針の注記との関係の整理、②個別財務諸表における取扱い、③契約残高（契約資産及び契約負債の残高等）に係る開示、④顧客との契約から生じた債権又は契約資産に係る減損損失及び⑤顧客との契約から生じた収益の表示科目について説明がなされ、第 99 回収益認識専門委員会（2019 年 8 月 6 日開催）における検討状況も踏まえ、審議が行われた。

（報告事項）

- (1) IASB 公開草案「IFRS 基準の年次改善 2018-2020」 — IFRS 第 1 号「国際財務報告基準の初度適用」の修正案等へのコメント

以 上